

普及活動情勢報告（令和４年９月分）

中央西農業振興センター高知農業改良普及所

ショウガの適期収穫に向けて ～現地実証ほの設置～



葉色の調査

露地ショウガでは、貯蔵中の塊茎の腐敗が問題となっており、原因の一つとして、充実の悪い塊茎の収穫・貯蔵が考えられています。その対策として、葉色診断による収穫適期判定が期待されており、８月から現地での調査を行っています。

８月２６日、実証ほ１カ所で葉緑素計およびドローンの空撮による１回目の生育状況調査を行いました。生産者からは、「４月の乾燥で生育が遅れたが、その後は順調」「腐敗を少しでも減らしていきたい」との声が聞かれています。

普及所は、今年度も関係機関と連携し、生産者の課題解決に向け支援をしていきます。

グロリオサの害虫対策 ～防虫ネット展示実証ほ調査～



0.3×0.6mm 防虫ネット

今年度、JA 高知市三里園芸部花卉部会では、グロリオサの害虫対策として２種類の防虫ネットの展示実証試験を行っています。現在、アザミウマ侵入抑制効果を粘着トラップを用いて調査しており、無処理区と比較して約 70%抑制されています。実証農家からは、「防虫ネットを張ったハウスは、アザミウマの被害が少ない」、「今後は、農薬だけでない防除方法も取り入れていかないといけない」といった声が聞かれました。

今後は、防虫ネットの課題であるハウス内温度を調査した結果をとりまとめて、部会へ報告します。

普及所は、今後も高品質なグロリオサ栽培に向けて、関係機関とともに実証試験の実施や勉強会の開催を支援します。

商品力向上に向けて～JA 高知市女性部鏡支部加工部チーム会～



チーム会の様子

９月７日に高知市鏡で部員 7 名と関係機関が集まりチーム会を開催しました。

普及所が会の進行や意見のとりまとめを行い、昨年より取り組んでいた、「冷凍塩漬けイタドリ」の県版 HACCP 第 2 ステージ取得報告と、県アンテナショップ「まるごと高知」での、新商品「しその葉ふりかけ」試験販売方法について話し合いました。

ふりかけにはご飯は必須！ということで、コロナ禍での試食提供方法を検討することになりました。

HACCP は「取得まで時間がかかったが、頑張って良かった。引き続き、衛生管理と HACCP を頑張ろう」と、喜びを共有しました。

普及所は、今後も関係機関と共に加工部の商品力向上に向けた取組の支援を行っています。

新規就農者受入れに向けて ～春野町新規就農者育成協議会総会の開催～



登録第1号のハウス

8月30日、春野町新規就農者育成協議会総会が、関係機関など10名が参加し開催されました。

この協議会は、新規就農者の確保・育成並びに農業振興の維持拡大を図ることを目的とし、中古ハウス情報の収集と登録、借り手となる新規就農者へのマッチングを主な事業として今年5月に設立されました。

総会では、今年度の事業計画及び収支予算について協議し、全会一致で承認されました。

総会終了後、中古ハウス貸出情報登録の書類審査及び現地確認を行い、1件の登録が決定しました。

普及所は、中古ハウスの情報収集と新規就農者への情報提供、協議会の運営等について支援を行い、関係機関と連携して新規就農者の確保に向けて取り組んでいきます。